

2021/22 競技規則改正伝達講習会を開催しました

サッカーの競技規則が改正され、5月13日にJFAから通達がありました。

JFA主催試合では6月19日から適用されます。

詳しい情報は、JFAのホームページから確認できます。

<https://www.jfa.jp/laws/>

中国地域でも、JFA主催試合を担当する審判員がいることから、できる限り早い段階で伝達できるよう取り組んでいます。

今回は、6月5・6日に開催されたJFA審判委員会による伝達講習会を受講した、S/1級審判インストラクターの中から、中国審判委員会の副委員長兼強化部長である前田拓哉氏が講師を務め、Webによる伝達講習会を12・13日の二日間で3回開催し、中国地域の2級審判員及び2級審判インストラクター合わせて198人が受講しました。



※ Webによる競技規則改正伝達講習会の様子です。(意図的にぼかしています。)

講習会では、昨年度大きく改正された「ハンドリング」について修正されており、IFAB

(国際サッカー評議会)の意図することが正しく伝わっていないこと、競技規則の文面がシンプルに改正されていることが紹介されました。

また、「ハンドリング」のファウルは判定が難しく、グレーな部分も多く存在していることが映像を通じて説明され、質問形式も含めて活発な内容の講習会となりました。

受講者された方の感想です。

岡山県：加藤恭子 2級審判インストラクター

今回、ハンドの反則という事で、3つの主な項目について講習を受けました。

その中の一つである「ボールが当たった手や腕の妥当性」について、映像を見て解説を交えながら教えていただき、自身の中で迷っていた部分がクリアになったように思います。

実際の試合の中で瞬時に見極めて判定をしなければなりません。教えていただいた事を活かして、今後の試合の中で正しい判定ができればと思います。

広島県：倉橋武人 2級審判員

今回の更新講習会では、主にハンドについて学ぶことができました。映像を用い、事象ごとに分けて講習を行っていたことによりとても分かりやすかったです。他の審判員の方々の考え、意見を聞くことでとても参考になりました。今回の講習会を機に自分が審判をするときに映像で学んだようなことが起きたときに自信を持ってジャッジできると思います。学んだことを活かしていけるように審判活動を頑張っていきたいと思いました。

岡山県：石井和宏 2級審判インストラクター

「手を使わないサッカーとは？」今回のハンドリングの講習で、その当たり前について、サッカー発祥のお家元四カ国(FIBA)から、原点に戻り考えるように言われた気がしました。

世界共通の競技規則に基づいた正しい判定は、勿論のことです。しかし、FIBAが伝えたかった昨年の改定の本質を受け取れずに、文字的、物理的な理解に偏っていたのかと思いました。

VARなど情報獲得技術の進歩の中で、今一度、サッカーは「手を使わない不自由さを楽しむ競技」であること、「人が人を判定する審判としてのサッカー観」を考えるきっかけとなりました。

今後は各県審判委員会が主催する伝達講習会、JFAのe-ラーニング等で、多くのサッカーファミリーに競技規則の改正について伝えていきます。

2021年6月15日

CGFA Referee 強化部